



周産母子センターが いよいよ始動!!

高度医療が必要なお母さんと赤ちゃんのために

妊娠は、お母さんの身体に大きな変化を起こすとともに、赤ちゃんの身体が一から作られていく、とても大事な時期です。

妊娠と胎児・新生児期（周産期）には、生命に関わる事態が発生する危険性が他の時期より高くなっています。最近では出産年齢が高齢化していることや、合併症のあるお母さんの妊娠も増えていることから、重い合併症などハイリスクの妊産婦や胎児・新生児も増えています。

千葉県には特別なサポートが必要なお母さんと赤ちゃんの両方を診療する施設が少なく、当院でも受け入れ困難となり、他の医療機関に母体搬送・新生児搬送をせざるを得ないことがありました。

そこで、このたび「周産母子センター」として、重症なお母さんや胎児を管理するMFICUを6床新設しました。また、より重症の新生児を受け入れることができるようNICUとGCUを合計15床増床し、診断技術や治療の高度化に対応した施設としてスタートしました。



画家の伊藤香奈さん（千葉大学大学院卒）が「少しでも穏やかな気持ちになれるように」と壁にイラストを描きました

一組でも多くの母子を救うため、周産期母性科、小児科、小児外科を中心に、大学病院ならではの高度な医療を提供するとともに、周産期医療の研究や医師など医療スタッフの育成を進め、周産期医療の進歩に貢献してまいります。



周産母子センター センター長
おおそね よしひろ
大曾根 義輝



NICU（新生児集中治療室）
6床→9床に増床



MFICU
（母体胎児集中治療室）
新たに6床設置
出産前後の妊婦を24時間体制で診療



GCU（継続保育室）
6床→18床に増床
NICUで状態が安定した新生児を継続して治療

症状が出たら、放置せずに一刻も早く病院へ!

日本人の死因の第4位となっている「脳卒中」。死に至らなかったとしても、後遺症により生活に支障をきたすケースが多くみられます。脳卒中は一刻も早く治療を開始することが重要です。早期に治療をすれば、症状を改善することも可能です。

包括的脳卒中センター
センター長
こばやし えいいち
小林 英一



患者数の増加が進む脳卒中

脳卒中は、脳の血管が詰まったり、破れて出血したりするなど、脳の血管に異常が起きる病気の総称です。いくつかの種類がありますが、代表的なものは表①のとおりです。

日本では、高齢化や糖尿病などの生活習慣病の増加により、脳卒中の患者さんは年々増加しています。ますます進む高齢化により、脳卒中発症者は、2025年には2010年に比べて2割増しになると予測されています。

もしも発症したら、可能な限り早く病院で受診することが重要です。早期に治療を開始することで、後遺症なく退院できる可能性があります。右ページの図①にあるように、発症が疑われたら一刻も早く病院へ行きましょう。周囲の方も気づいてあげましょう。

脳卒中は予防できる!

脳卒中の発症率を高める重大な危険因子として、表②の5つが挙げられます。そのほかにも、過度の飲酒や運動不足などが

脳卒中の危険因子として挙げられます。

逆にいえば、危険因子をつくらなければ発症を抑えることも可能な病気だといえます。「適度な運動を行う」「塩分を控えて栄養バランスのいい食事をとる」「禁煙」「過度な飲酒を控える」「規則正しい生活を送る」といったことを実行し、脳卒中を予防しましょう。

脳卒中の患者さんをトータルでサポート

脳卒中は、生活習慣病や他の全身疾患とも密接に関連するため、その治療と予防には多職種間の連携が不可欠です。当院では「包括的脳卒中センター」を設置し、千葉大学病院の人的資源を最大限に活用したチーム医療を行っています。患者さん一人ひとりの病態に応じて、迅速に最良の医療を提供していきます。

表② 脳卒中の5大危険因子と予防

高血圧	数値が高めの人は注意が必要です。脳の血管に大きな負担となり、動脈がもろくなり、詰まったり破れやすくなります。食事の塩分を極力少なくしましょう。
糖尿病	食生活の欧米化により、患者さんが増えています。摂取カロリーを低く抑える必要があります。食事は1日3回バランスよく食べ、間食や油料理を減らして、体重をコントロールしましょう。
脂質異常症	コレステロールが高めの人は、過度の脂肪の摂取を制限する努力が必要です。油料理を減らして、豆類、海藻、キノコ、根菜類など、コレステロールを下げる食べ物を多く摂取しましょう。
不整脈(心房細動)	心臓の中にできた血栓が脳に運ばれることで、脳の動脈を閉塞させます。抗凝固薬を用いることで血栓がつかられなくなり、脳梗塞を予防することが可能になります。
喫煙	ニコチンが血圧を上昇させ、動脈硬化を促進するといわれています。百害あって一利なしです。

表① 脳卒中の種類

脳梗塞	脳の血管が詰まったり、狭くなったりして、血流が悪くなります。
脳出血	脳の中の細かい血管が破れて出血します。
くも膜下出血	脳の表面を走る動脈にできたコブ(動脈瘤)が破れて、くも膜の下に出血します。
一過性脳虚血発作	一時的に脳の血管が詰まりますが、すぐに血流が再開します。脳梗塞の前兆と考えられており、緊急に受診が必要です。

ニュース & トピックス

NEWS & TOPICS

人命救助で研修医に感謝状! 駅で外国人旅行者を救う

12月26日

昨年12月26日、JR津田沼駅で外国人旅行者が倒れた際、総合医療教育研修センターの研修医・李宇(りう)さんが迅速かつ適切に救急措置を実施。救急隊にも同行し、医療通訳を行うなど、人命救助に尽力した功績を称え、習志野市東消防署長より感謝状をいただきました。



病院長から表彰状を受け取った李さん

「入院をしないがん治療」とは? 第9回がん市民公開講座

1月24日

今回は、最新のがん治療をテーマに、医師から新しい免疫チェックポイント療法や、腹腔鏡手術の安全性について説明を行いました。看護師とソーシャルワーカーからは、「入院をしない」というこれからのがん治療について解説。約240名の参加者は熱心に聞き入っていました。



深い感動を与えた、がんと闘う久光重貴選手(フットサル)の講演

千葉大学発「ノンメタポーク」 医食同源メニューと初コラボ!

3月1日~

千葉大学発のベンチャー企業が開発した「ノンメタポーク」は、低脂肪・高タンパク質の「メタポではない」豚の肉。ひがし棟11階の展望レストラン・ヴァンセーヌで人気の『医食同源メニュー』(和漢診療科長監修)に3月から導入。定番のカツやメンチとともに好評です。



春の医食同源メニュー「豚三枚肉のシチュー」は美肌効果も

ベテラン医師を目指して切磋琢磨 「研修医OSCE大会」を初開催

3月21日

県内の研修医1年目を対象に、千葉県、NPO法人千葉医師研修支援ネットワークと共同で、「研修医OSCE(オスキー)大会」を開催。参加した13名の研修医は、模擬患者診察と患者説明、画像診断、外科縫合手技、救急対応を行い、評価者から丁寧な指導を受けました。気付かない意外な点を指摘され、参加者にとって実りの多い一日となりました。



「緊張感があって非常に勉強になった」と好評の救急対応

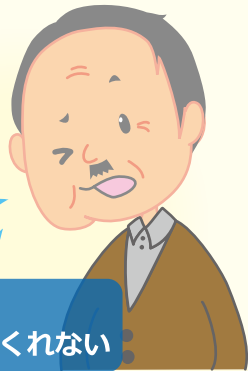
こんな症状が急に出たら「脳卒中」??

5つのうち1つでも該当したら、脳卒中の疑いあり！即座に専門医療機関の受診を！

- 顔がゆがむ、うまく笑顔がつかれない、
口の片側から水がこぼれる
- 片腕に力が入らない、
うまく立てない、歩けない
- ろれつが回らない、言葉が出ない、
言うことが理解できない
- 片方の目が一時的に見えなくなる、
物が二重に見える、視野が欠ける
- 経験したことのない激しい頭痛がする

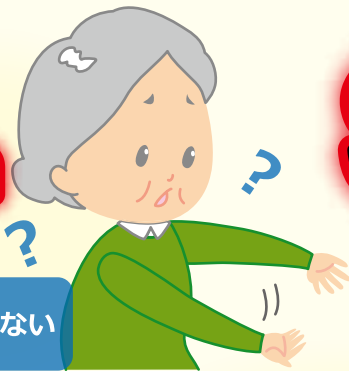


Face



顔がゆがむ
うまく笑顔がつかれない

Arm



片腕に力が入らない

Speech



ろれつが回らない
言葉が出ない

片目が見えない
物が二重に見える

今までにないほどの頭痛

時間との勝負なので
発症した時間も
確認しておく
いいですね！

Time

迷わず **119** 番に！

本人、またはご家族などで
このような症状が出た場合
迷わず119番へ連絡を!!



※Face、Arm、Speech、Timeの頭文字を取り「FAST」と呼んでいます。米国脳卒中協会では、脳卒中が疑われる人を見かけたらFace、Arm、Speechの3つのチェックをして、該当者には急いで（Time）医療機関を受診するように勧めています。

患者さんのための

Q&A

Q ストレスはからだに
どんな影響を与えますか？

A ストレスは、適度な量と強さであれば、生活に張りを与えてくれるもので、ストレスが全くない状態というのも健康に良くないとされています。ただ残念ながら、現代社会はストレス過多になりがちであり、強いストレスに長い間さらされていると、胃潰瘍や心筋梗塞、

うつ病といった病気にかかりやすくなります。

死別、病気、失業…結婚も!?

過去のアメリカの研究において、人に最も強いストレスを与える日常生活上の出来事は、配偶者との死別である、という結果が出ています。他に強いストレスを与えるものとしては、離婚や家族の死、自身の怪我や病気、失業、定年退職といったものがありますので、これらの出来事が重なった場合は注意が必要です。意外かもしれませんが、結婚も比較的強いストレスを与えるものとして挙げられています。

対処法は睡眠と「自分のためだけの時間」

ストレスがたまってくると、イライラしやすくなったり、ささいなことにこだわりやすくなったり、ものの見方や考え方が狭まって、極端な考え方をしてしまいやすくなります。スト

レスに負けないために、まずは十分な睡眠時間の確保が必要です。必要な睡眠時間は個人差がありますが、理想的には夜12時に寝て6～7時間程度とされ、年齢とともに短くなっていきます。次に、忙しい中でも意識して「自分のためだけの時間」を作るようにして、気分転換をすることが大切です。



精神神経科 医師 木村 敦史

医師と看護師が技術を高めて手術に臨んでいます

一昨年から、他病院での腹腔鏡手術による死亡例が報告され、世の中の注目を集めています。「腹腔鏡手術って安全なの?」そんな疑問にお答えします。

**傷口が小さく
患者さんの負担も少ないが...**

腹腔鏡手術とは、腹部に1~2cm程度の穴を開け、そこからカメラを入れて、モニターに映し出された画像を見ながら行う手術です。腹部を大きく切る開腹手術と比べて傷口が小さいため、術後の痛みが少なく、退院までの時間が短縮できるケースが多く、患者さんにとって負担が少ない手術として多くの期待を集めています。

しかしここ数年、肝臓の腹腔鏡手術で合併症を発生して死に至ったケースが相次いで報告され、各メディアで大きく取り上げられました。この事態を重く見て、厚生労働省や私たち医師が所属する日本肝胆膵外科学会は調査を進めてまいりました。その結果、死に至った手術例は、安全性が確立されていない「保険適用外」の手術だったことが判明しました。

つまり、安全性や有効性が確認されている「保険適用」の手術は患者さんにとって有効だといえます。

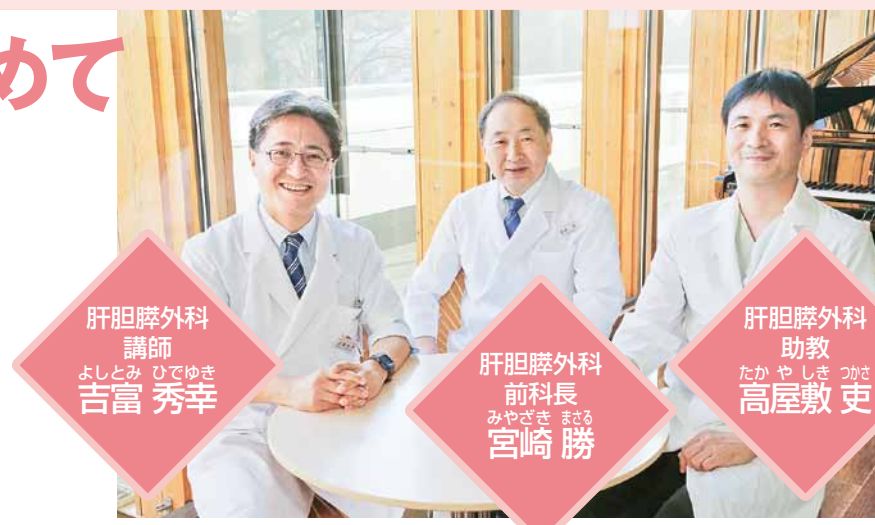
だからといって、保険適用外手術が禁止されているわけではありません。倫理的な問題や医学的な適用を専門医がきちんと検討し、患者さんへ説明・相談したうえで、慎重に行うことが求められるということなのです。

医師が技術的に難しいと感じる手術もあります

肝臓や膵臓(すいぞう)の腹腔鏡手術は技術的に難しいため、保険適用の有無に限らず、専門医がいる専門病院で受けることをお勧めします。

なお、千葉大学病院は、肝臓や膵臓の腹腔鏡手術の専門病院として登録されています。また、肝胆膵外科だけでなく、食道・胃腸外科や婦人科、泌尿器科など各科に専門医をそろえ、体制を整えて腹腔鏡手術を行っています。

ただし、腹腔鏡手術はあくまでも選択肢の一つです。



肝胆膵外科
講師
よしとみ ひでゆき
吉富 秀幸

肝胆膵外科
前科長
みやざき まさる
宮崎 勝

肝胆膵外科
助教
たかやしき つかさ
高屋敷 吏

宮崎 勝 1975年に千葉大学医学部卒業、2001年から臓器制御外科学教授、2012年4月から2014年3月まで病院長、2016年3月まで肝胆膵外科長を務める。オフの日は、野球やジョギングなどで体を動かしてリフレッシュ。

吉富 秀幸 1990年に千葉大学医学部卒業、2013年4月より現職。オフの日は、小学1年生のお子さんと一緒にジェフユナイテッド市原・千葉を熱烈応援。「来年こそJ1昇格を!」

高屋敷 吏 1996年に千葉大学医学部卒業、2007年7月より現職。オフの日は、1歳と3歳のお子さんと遊んでリフレッシュ&癒されている。

専門医が患者さんを診断した結果、症状によっては開腹手術をお勧めすることもあります。患者さんの症状に合わせて、その方に合った適切な手術方法を判断しています。

今後も、より技術を高めながら、患者さん一人ひとりの症状に適応した手術を行ってまいります。

手術を行う医師・看護師のさらなる技術向上に取り組んでいます

患者さんへの負担を軽くし、術後を快適に過ごしていただくためには、私たちの技術をこれまで以上に高めていく必要があります。そこで当院では、腹腔鏡手術をはじめとしたさまざまな治療の技術研修に注力しています。

当院には、医療安全を実践できるよう、医療者の育成を目指した「クリニカル・スキルズ・センター」があります。学生・若手の医師・ベテランの医師とそれぞれの層に応じて、腹腔鏡手術やロボット支援手術の教育研修を行っています



2011年から2015年までの間に、肝胆膵外科では215例の腹腔鏡手術を実施。千葉大学病院トータルでは、泌尿器科、食道・胃腸外科、呼吸器外科、小児外科、婦人科、周産期母性科も含め、3,243例の実績を積み上げています。なお、肝胆膵外科ではロボット支援手術も手掛けています

私のアウトサイ

ロードバイクで600キロ完走!

私は、外来で患者さんの搬送、検体の運搬、環境整備など多岐にわたる仕事をしています。緊張する場面も多いのですが、以前、救急外来で妊婦さんを搬送した時に、「前回のお産の時も久保田さんに搬送してもらいました」と言われびっくりしました。その何気ない一言に報われる思いがして、うれしくなりました。

体力をつけるつもりで始めたロードバイクは、病院勤務と同様10年以上になります。最近では耐久レース、ヒルクライムなど、いろいろ参加しますが、今一番夢中なのが「ブルベ」です。200~600キロという長距離を指定されたルートで、時間内にゴールするというものです。特に600キロを40時間以内でゴールしたときの達成感は格別です。



いつか自転車で日本一周してみたい

看護部 看護補助者
くぼた ただし
久保田 正

働く現場日記

鍼灸治療で、患者さんの痛みや悩みを緩和しています

和漢診療科 鍼灸師 **もりた あきら**
森田 智

「大学病院で鍼灸治療?」と思われる方も多いことでしょう。当院では以前より、神経内科疾患の難病やさまざまな症状の患者さんに対して、鍼灸治療によるアプローチを試みてきました。和漢診療科の鍼灸治療では、「がんで治療中だけれど、食欲がなくて食べることができない」という患者さんに施術することで、食べることができるようになったケースも多くあります。

鍼灸治療は、痛みのある患者さんに施術すると、効果がすぐに表れやすく、その場で感謝されることがよくあります。痛みが和らいで、患者さんが笑顔で帰られるときは、やりがいを感じ、充実感をおぼえます。

あまり知られていない当院の鍼灸ですが、長年の痛みや悩まされ続けている方はぜひご相談ください。



他科とも連携して、患者さんの痛みを緩和しています

あとがき

新年度を迎え、桜の花が咲く季節となりました。毎年この時期は、新生活をスタートする方も多く、気持ちフレッシュになります。千葉大学病院でも、みなみ棟の改修工事が終わり、周産期・新生児医療の機能がさらに充実しました。世界最高水準の病院を目指して、また一歩前に進みます。病院長企画室では、患者さんに安心・安全な高度医療を提供し続けられるよう、健全な病院経営に向けたさまざまな施策に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。(病院長企画室 特任准教授 安藤和忠)

【いのなハーモニー】45号 発行日 2016年4月15日
発行 千葉大学医学部附属病院
〒260-8677 千葉県千葉市中央区玄昇1-8-1
TEL 043-222-7171(代表) <http://www.ho.chiba-u.ac.jp/>
※ホームページでバックナンバーがご覧いただけます